

民生文教委員会

●平成27年度一般会計補正予算（第5号） ～地域創生推進費～

Q 3Days worker's office構想策定事業において、生活困窮者の仕事を奪うことなく週3日間の仕事を供給することについて見通しはどうか。

A 市内企業には、フルタイムといった就業形態だけでなく、働く方が求める勤務時間を受け入れることに発想を転換していただく。それにより、採用人数を増やすこと、あるいはシフトの隙間を埋めていくことを促していきたい。生活困窮者の仕事を奪うことなく、埋もれているものを掘り起こし、新たな仕事を創出する視点で実施していきたい。

●平成27年度一般会計補正予算（第5号） ～地域創生推進費～

Q アクティブ育児応援プログラム推進事業は、スポーツ推進委員が主体となって実施している親子スポーツ教室と趣旨が同じではないか。また、それらとのすみ分けをどのように考えているか。

A 親子スポーツ教室はスポーツ推進委員を中心に実施していただいている。今回の事業と運用面等で重なる部分がある場合は、実施していく中で検討していく。なお、企業におけるワークライフバランスへの取り組みを進める観点から、働いている親が子どもとスポーツを通して触れ合う機会を設けていくことを目的の一つとしているため、その意味ではすみ分けは出来ていると考える。



親子スポーツ教室

総務委員会

●平成27年度一般会計補正予算（第5号） ～地方創生推進費～

Q 袋井商業高等学校5年制化推進事業として、有識者会議を立ち上げるが、具体的な活動内容と人数の予定は。

A 有識者会議では、県の有識者会議の委員などを招き、国や県の動向など、本事業の周辺環境を学ぶため、本年度は2回ほどの勉強会の開催を予定している。

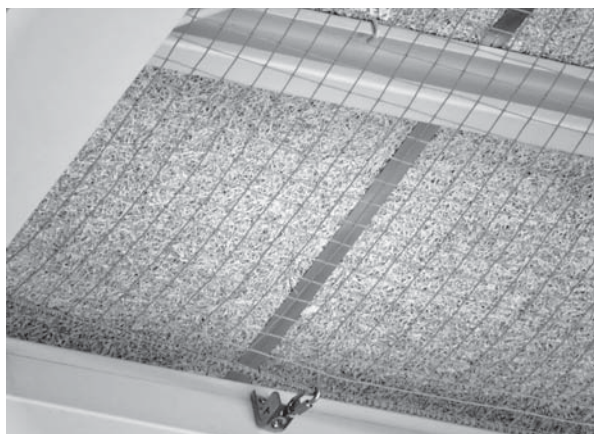
また、有識者会議のメンバーは近隣市町の関係者を含めると10名程度になるものと予測している。

●平成27年度一般会計補正予算（第5号） ～防災費～

Q 各公共施設で実施予定の天井落下防止ネットやガラス飛散防止フィルムの耐用年数はどれくらいか。

A 天井落下防止ネット、ガラス飛散防止フィルムともに耐用年数は15年を基準としている。

※ 今回の補正予算による工事で、市内の避難所に指定されている保育所、幼稚園、小・中学校、公民館等で天井落下、ガラス飛散防止対策が必要な施設については、完了となります。



中学校体育館の天井に張った落下防止ネット